

FKP方式：リアルタイムドクト測位の事例紹介

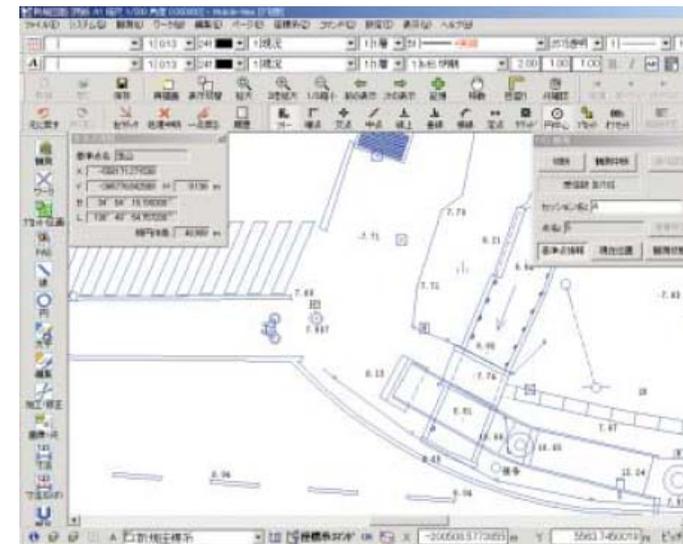
境界確定測量における適用

有限会社治左工門国土設計 様

福祉施設の建設地で、下水道工事に伴う確定測量にて利用。「従来方式では1箇所の観測に1時間、1日観測して次の日は事務所でそのデータ解析。そのデータが観測不適合の場合はまた現場へ行って再観測・・・という具合に作業時間が掛かっていましたが、FKPと電子平板を使うことで効率化が図れる。また雪の日でも才覚は座標が取得できますから安心です。」とコメントいただいている。



◀盛岡市郊外の現場。



現状測量図